

## マーケットトピックス (10月31日)

### ■前日の流れ

東京市場では、新規材料に乏しく、序盤から狭いレンジ内の動きとなった。そして、日経平均株価が上げ幅を拡大する動きとなったことなどから、投資家のリスク志向の動きが強まり、相対的に安全な資産とされる円を売るきが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。米国市場でも底固い動きとなり、ドル/円は113円台を伺う動きとなった。しかし、米長期金利が低下したことも加わり、113円台手前で押し戻される動きとなった。その後、米長期金利の低下に加え、欧州通貨下落も加わり、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。終盤には米主要株価が上げ幅を拡大したことが好感され、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



### ■本日のポイント

依然として世界的に株式市場の不安定さが続いており、上げ下げの幅も大きくなっている。為替市場でも、懸念される材料が多いことから、ポジションを傾け難い状況でもある。そのため、比較的判断しやすい株価の動きを見ながらの展開が続いており、通常時（要人発言や経済指標発表以外の時間帯）は当面は株価主導の動きが続く可能性も考えられる。そして、昨日、雇用統計（失業率）との相関性が高い消費者信頼感指数が好調な結果となったことから、失業率の良化の可能性も考えられる。また、本日のADP雇用統計、雇用コスト指数、明日のチャレンジャー人員削減数、ISM製造業景況指数、新規失業保険申請件など、週末の米雇用統計まで雇用に関連のある米経済指標の発表が続くことから、結果が注目される。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡、または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断は、お客様ご自身でお願いします。